

もみじ台

# まちづくり通信

令和3年  
8月発行

発行：もみじ台まちづくり会議事務局（もみじ台まちづくりセンター内）



## 「もみじ台まちづくり会議」総会開催



7月20日にもみじ台管理センターで「もみじ台まちづくり会議」の総会を開催し、42人（委任状を含む）が出席しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症のために書面開催となったため、およそ2年ぶりに委員が集まりました。総会では、事務局から昨年度の事業結果や今年度の事業計画が報告され、賛成多数により承認されました。

### 令和2年度事業結果と令和3年度事業計画について

昨年度に計画していた事業のうち、5月に予定していた「フラワータウン事業」や11月に予定していた「もみじの大広間」は、新型コロナウイルス感染症が拡大していたために中止になりました。また、交流サロン「地域の茶の間」、「フロアカーリング」についても、感染予防のために実施できませんでした。

今年度についても、「フラワータウン事業」、「もみじの大広間」、「地域の茶の間」、「フロアカーリング」の実施を予定しています。このうち、「フラワータウン事業」については、5月21日に感染予防のために、例年よりも少人数で密をさけて実施しております。「地域の茶の間」については9月まで、「フロアカーリング」については7月まで中止が決定しています。

「もみじの大広間」については、秋頃に実施の可否を判断する予定です。

### もみじ台まちづくりビジョン（中間案）について

もみじ台まちづくり会議では、平成30年にワーキンググループを立ち上げて、「もみじ台まちづくりビジョン」の検討を進めてまいりました。令和2年度には作成した中間案を全戸配布し、住民の皆様の意見を募集したところ、23人から意見が寄せられました。

今回のまちづくり会議総会では、住民の皆様の意見を反映した「もみじ台まちづくりビジョン（素案）」について事務局から説明し、賛成多数により承認を受けました。

なお、札幌市では、今年度からもみじ台地区の長期的なまちづくり指針の策定に着手する予定とのことですので、「もみじ台まちづくりビジョン」を地域の意見として市に提出します。

まちづくり会議では、今後もワーキンググループを活用してまちづくりの具体策を検討し、検討会議などの機会を通じて、市のまちづくり指針に反映させるように働きかけていきます。



# ↓「もみじ台まちづくりビジョン」(概要版)

## もみじ台まちづくりビジョン (素案) <概要版>

令和3年7月 もみじ台まちづくり会議

### 1 もみじ台まちづくりビジョンの策定にあたって

もみじ台地区は、高度経済成長とともに発展した、豊かな自然と札幌市最大の住宅団地を有するまちです。札幌市の新住宅市街地開発事業に着手して以来、**40年以上が経過し、市営住宅の再整備をはじめとしたまちの将来について検討する時期に突入しています。**  
このような状況を契機に、住民が主体となって議論を重ね、「もみじ台まちづくりビジョン」を策定しました。

#### (1) まちづくりビジョンとは？

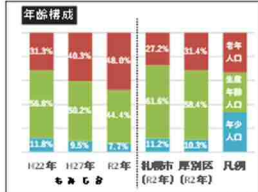
- ・地域が進める**まちづくり活動の指針**
- ・**行政や民間事業者等と連携**して取り組むまちづくりに関する**地域の意向**を示すもの



ワーキングを立ち上げて検討しました！

←意見交換の様子

#### (2) もみじ台の現状 ～人口減少と少子高齢化の傾向が顕著です～



資料：住民基本台帳

#### (3) もみじ台におけるまちづくりの課題

##### 課題1：若い世代等の減少・流入不足

若い世代をはじめとした様々な世代が望む働き方や暮らし方を実現できるまちづくりを進め、流入促進を図ることが必要です。

##### 課題2：にぎわいの減少と教育環境の変化

若い世代の流入を促進するためにも、まちのにぎわいづくりと教育環境の充実に向けた取組が必要とす。

##### 課題3：進む地域の高齢化

高齢になっても安心して住み良く住み続けられるまちづくりと多世代共生に向けた取組を進めることが必要です。

### 2 もみじ台が目指すまちの将来像と目標

もみじ台地区の現状やまちづくりの課題等を踏まえ、もみじ台が目指すまちづくりと、その実現に向けた目標・取組を以下のように掲げます。

**まちの将来像** **新たな交流が生まれ、にぎわいがあふれるまち**  
～誰もが安心して楽しく住み続けられるまちづくり～

#### 基本目標

##### 目標1 若い世代等が住みたくなるまち

子育て世代や学生等の若い世代をはじめとした様々な世代が住みたくなる活力あるまちを目指します。

#### <取組内容>

- ・子どもから高齢者に関する取組
- ・交流機会の充実(趣味や娯楽、子ども食堂、多世代交流など)



##### 目標2 にぎわいにあふれ学びが充実したまち

自然豊かなもみじ台のまちがにぎわいにあふれ、多世代にわたり学びが充実したまちを目指します。

#### <取組内容>

- ・子どもから高齢者まで、誰もが学び続けられる環境づくり
- ・交流機会の充実(趣味や娯楽、多世代交流など)【再掲】
- ・もみじ台のまちづくりに関する継続的な検討・周知
- ・豊かな自然を活かした取組、環境づくりの推進



##### 目標3 安心して住み続けられるまち

住環境の充実や見守りなど、高齢者等になっても安心して住み続けられるまちを目指します。

#### <取組内容>

- ・健康づくりに関する取組
- ・身近な相談ができる機会づくり
- ・日常生活における高齢者等の見守り活動
- ・交流機会の充実(趣味や娯楽、多世代交流など)【再掲】



### 3 もみじ台まちづくりビジョンの推進

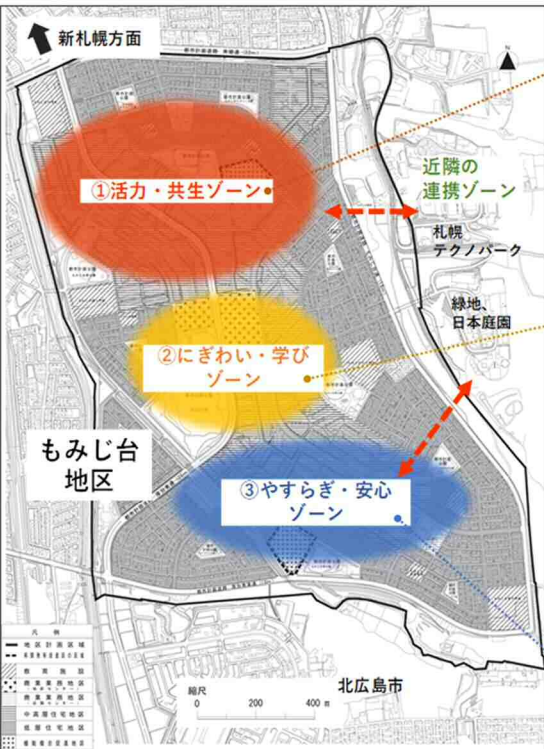
- ・**地域住民やもみじ台まちづくり会議等の地域が主体**となって上記の取組を進めます。
- ・**ワーキングメンバー等との連携により、継続的な検討・取組**を進めます。
- ・もみじ台に必要な**施設や機能の実現**については、地域だけでは実施が困難なため、**行政への働きかけや地域内外における民間事業者、大学等との連携**を図ります。

**地域が一体となって、将来のもみじ台をつくっていきましょう！**

## < 資料編 >

### もみじ台地区のゾーニング図案

ワーキングでは、まちの現状や課題を踏まえ、必要な機能や特徴からもみじ台地区を3つのゾーンに分け、各ゾーンにおける**将来のまちの姿のイメージ**を検討しました。



図：まちのゾーニング図案 ※ゾーニング図の図面は、もみじ台地区計画図を使用

### 各ゾーンの具体的なイメージ

#### ①活力・共生ゾーン (北側～中心部)

**子育て世代や学生等の若い世代が暮らしやすい環境や住宅が整備されるゾーン**です。また、高齢者など多様な世代との共生や金銭的な取組との連携を図るなど、活力があふれるゾーンです。



イメージ

##### <若い世代の流入促進>

- ・学生、若い世代の家族、高齢者や若い方の多世代居住エリアとし、多世代で交流ができるような**地域食堂**のような**飲食店やレストラン**も誘致する。
- ・低価格帯の家賃で、自分達でリフォームできる仕様としたり、**シェアハウス**機能などを導入する。
- ・**コポラティブ住宅や長屋方式の住宅**など、コミュニティを形成し、助け合って暮らせる環境をつくる。
- ・近隣の大学生やテクノパークに通勤する職員が居住できる**小規模共同住宅**の建設のための土地利用制限を緩和する。
- ・**オリンピックの選手村誘致**は民間開発によるマンションを中心とするミニタウンの建設を進める。



<ワーキングで出されたご意見等>

#### ②にぎわい・学びゾーン (中心部)

**商業施設等の利便施設や教育関連施設が集約され、まちの中心となってにぎわいを創出するゾーン**です。また、熊の沢公園等の自然を活かし、アクティビティやコミュニティの活性化を図ります。



イメージ

##### <教育、学び>

- ・地域の学力レベル向上に向けた取組が必要である。例えば、小・中学校を統合し、9年間の**計画的な教育プログラムを導入した小中一貫校**とするなど。
- ・統合した学校施設を核とし、大人向けの**シニア大学**、パソコン教室などの教室、子ども達の放課後教育など、多様な教育プログラムを実施する。

##### <利便施設、交通等>

- ・中心部に**ショッピングモール**等のにぎわい・利便施設をつくり、魅力を高める。
- ・管理センターを**複合交流文化施設**に建て替え、住民の会議や会合、文化的イベント(ミニコンサート等)など多様な使い方ができる施設とする。
- ・ホテルが生息でき、自然体験が楽しめる**ネイチャーパーク**、四季を楽しめる優雅な**日本庭園**を建設する。
- ・緑道沿線に面する土地については、**コンビニや飲食店**等の利便施設が立地できるよう土地利用の規制緩和を検討する。
- ・**バス路線網を再編成**する。

<ワーキングで出されたご意見等>

#### ③やすらぎ・安心ゾーン (中心部～南側)

**住宅や自然、医療・福祉の環境が充実し、やすらぎと安心を与えるゾーン**です。高齢者等になっても住み続けられるまちづくりを支えます。



イメージ

##### <施設、住宅>

- ・高齢者の利便性を考慮し高層集約化した**高齢者専用の市営住宅**エリアとする。集約により、民生委員の効率性に貢献でき、見守り機能も高まると思う。
- ・家族構成を考慮した**多様な取り回しの住宅**や、障がい者など住宅確保要配慮者に配慮した住宅の建設を進める。
- ・食事や介護サービスを提供する**サービス付き高齢者向け住宅**の機能を備えた単身高齢者専用の住戸を誘致する。

##### <医療・福祉、自然>

- ・**自然環境を充実**させる(緑道の緑地公園など)。
- ・**医療・福祉の拠点づくり**を進める。

<ワーキングで出されたご意見等>